

事業名	希少野生動植物保護事業費			調査番号	61
細事業名	希少野生動植物種保護調査事業費	財務コード	685203		
担当部課室	森林環境部 部	みどり自然 課	自然保護 担当 (内線)	6508	

事業の概要

実施期間	始期 H20 年度 ~ 終期 - 年度	
実施主体	県(委託)	
目的	だれ(何)を対象に	その対象をどのような状態にして
	山梨県レッドデータブックおける絶滅危惧種(希少野生動植物種)	生息状況のモニタリング調査を実施し、生息状況を把握している
結果、何に結びつけるのか	希少野生動植物種の保護	
内容	・希少野生動植物種について生息状況調査を行い、調査対象種の確認及び未確認を記録する。 未確認であってもその時点で当該対象種が確認できなかった記録となる。 継続した記録を積み上げることで希少種の生息状況(減少または現状維持、減少の場合はその進行度)を把握できる。 ・山梨県希少野生動植物種の保護に関する条例における指定希少野生動植物種への追加候補種の把握 急速に生息数が減少し、緊急的に条例による保護(捕獲等の禁止)をする必要のある種を把握する。	

事業の目標、実施状況等(事業実績及び成果の達成状況)

区分	指標	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	
活動指標	希少野生動植物種調査対象種数	目標	115	117	118	118	116	120	120
		実績(見込)	115	117	118	118	116	120	
		達成率	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0		
		達成区分	b	b	b	b	b		
成果指標	山梨県希少野生動植物種の保護に関する条例における指定希少野生動植物種への追加候補種の把握 数値目標を設定することがない。	目標	-	-	-	-	-	-	-
		実績(見込)	-	-	-	-	-	-	-
		達成率	-	-	-	-	-	-	-
		達成区分	-	-	-	-	-	-	-
決算(予算) 単位:千円		1,733	1,733	1,808	1,841	1,841	1,841	1,843	

事業の評価(平成27年度の業績評価)

活動指標	b	評価	-
成果指標	-	評価	絶滅を防ぐため緊急的に山梨県希少野生動植物種の保護に関する条例による保護(捕獲等の禁止)をする必要がある種か判断するための情報を適切に収集することができた。

・「活動指標、成果指標の達成率」から事業の活動量、成果に係る一次評価の考え方を記載すること。
 ・指標がない場合や指標を補足する必要がある場合には、指標によらない成果を用いて記載すること。

見直しの必要性(平成29年度に向けた改善等の考え方)

見直しの必要性	判定	<input checked="" type="checkbox"/> 必要性が高い	<input type="checkbox"/> 必要性がある程度認められる	<input type="checkbox"/> 必要性が低い
	説明	<input type="checkbox"/> 社会経済環境の変化により、当該事務事業が解決すべき課題が増えている、増えることが予想される <input checked="" type="checkbox"/> 事業の拡大や充実を求める意見・要望が増えている <input type="checkbox"/> 法令等により、県が実施することが義務づけられている <input type="checkbox"/> 県が実施しないと、県民生活に深刻な影響が生じる <input type="checkbox"/> 民間が実施した場合、現在のサービス水準を維持することが、収益性や技術面で困難である。 <input checked="" type="checkbox"/> その他(県以外に実施できる主体がない)		
	説明	事業の公共性から山梨県内の希少野生動植物種のモニタリング調査を実施できる主体は県のみである。		
有効性(成果向上)	判定	<input type="checkbox"/> 大幅な成果向上が可能	<input checked="" type="checkbox"/> 成果向上が可能	<input checked="" type="checkbox"/> 成果向上は余り望めない
	説明	野生動植物種に対する調査は継続的に肅々とデータ収集を行っていくものであるため、成果向上は余り望めない。		
見直しの余地	判定	<input type="checkbox"/> 見直す余地がある	<input type="checkbox"/> 見直す余地がある程度ある	<input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がない
	説明	<input type="checkbox"/> 民間委託や指定管理者制度の活用など事業手法の見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 業務の進め方や手続き(業務プロセス)を簡略化・簡素化する余地がある <input type="checkbox"/> サービスの対象、水準、内容を見直す余地がある <input type="checkbox"/> 実施体制(事業間・組織間の連携や事務分担など)を見直す余地がある <input type="checkbox"/> 投入したコストに見合った効果が現れておらず、効果向上やコスト削減を検討する余地がある <input type="checkbox"/> その他()		
	説明	現在、山梨県内の希少野生動植物種について必要最小限の調査を実施しており、これ以上の見直しは困難となっている。		
見直しの必要性	無			

見直しの方向(平成29年度当初予算等での対応状況)

現行どおり	説明	
-------	----	--

・見直しの方向は、「廃止」「一部廃止」「終期設定」「休止」「他事業と統合」「縮小」「拡大」「実施方法等の変更」「改善済み」の中から選択し、見直しの必要性を踏まえ、具体的な実施計画等を分かりやすく記載すること。見直しがない場合は「現行どおり」と記載し、必要に応じてその理由を記載すること。